

# ストックマネジメント通信

## ■第3回農業水利施設ストックマネジメント施設管理研修会開催！■

平成28年2月12日に県主催で第3回農業水利施設ストックマネジメント研修会を土地改良事業団体連合会大会議室にて開催しました。

これまでの第1, 2回の研修会では、揚水機場の機能診断調査及びその評価、評価に基づく機能保全対策の検討と実施シナリオの作成と一連の流れで作業を行ってきました。今回は設備毎の実施シナリオに基づく機能保全コストの算定を行い、経済的かつ合理的な対策につながる保全計画書の作成を行いました。

その他にも、水中ポンプのオイル交換を改良区の職員が一部行った様子を撮影したDVDを上映し、他改良区の作業事例も学べる有意義な研修会となりました。



## ■来年度からのストマネ研修会について■

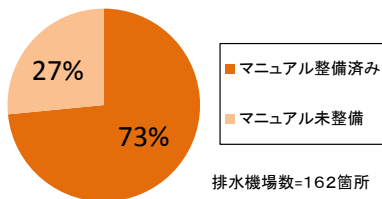
これまでのストマネ研修会は、「基幹水利施設保全管理対策事業」と呼ばれる国庫補助事業を活用して県が事業主体となって実施していましたが、この事業が国の事業再編により次年度から「土地改良区体制強化事業」に組み込まれることとなり、事業主体が土地改良事業団体連合会に変更となります。

再編される事業の要綱・要領については確定次第、各振興事務所を通じて送付しますが、ストマネ研修会に関しては、「来年度以降も研修会の開催を希望する」という声を多数受けており、現在の体制を基本に引き続き継続する予定としています。

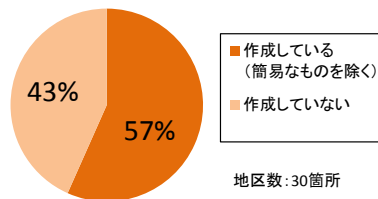


## ■排水機場に関するアンケート集計中！■

排水機場運転管理  
マニュアル整備済み割合



排水機場点検記録簿  
作成割合

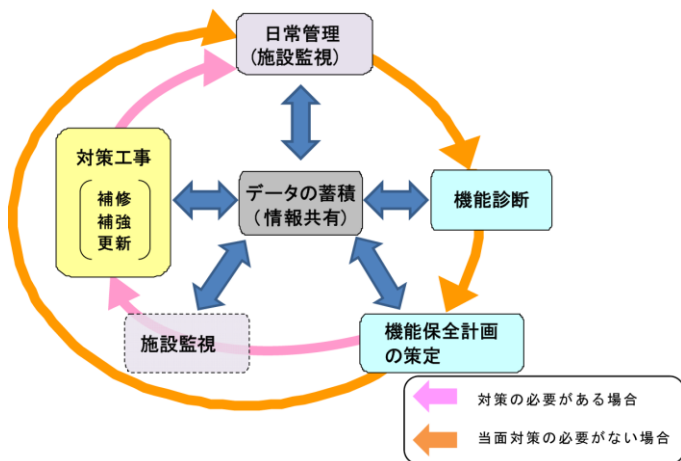


2月から3月にかけて、排水機場の運転管理に関するアンケートを市町村及び土地改良区の方をお願いしていました。多くの方にご協力頂き、ありがとうございました。ここで集計結果の一部を紹介します。左記のグラフからはマニュアルや点検名簿の作成状況に地区差があることが読み取れます。この他のアンケート集計結果もまとも次第、まとめて情報提供させていただきます。

## ■施設台帳について

毎年、今の時期になると【施設台帳】の更新が各振興事務所を通して、管理団体に依頼されていることと思います。その内容は新たに設置された施設や廃止された施設の状況、また更新された設備や整備履歴について朱書き訂正して頂くという内容となっています。しかし、「毎年面倒だな」とか「調べて何に使うのだろうか?」と思っている方も居るのではないのでしょうか。

### 【ストックマネジメントのサイクル】



【施設台帳】は左の図にある「ストックマネジメントサイクル」の中心「データの蓄積」に位置づけられるものとなっており、ストックマネジメントの根幹を成すものです。「農業水利施設の機能保全の手引き 総論編」では「データの蓄積」について次のように解説しています。

☆過去の機能診断の結果や補修工事の履歴等を電子化されたデータベースに蓄積し、一元管理することが重要である。これにより、施設の経年的な劣化を的確に把握することが容易となり、劣化予測の精

度向上や効果的な対策工法の検討に資するなど、より効率的なストックマネジメントの実施と技術の向上を図ることが可能となる。

☆蓄積された情報は、関係機関で共有する（リスクコミュニケーションを含む）とともに、常に参照できるように整備しておくことが重要である。

このように【施設台帳】は各施設の管理状況を関係機関が共有する役割を果たしていますが、そればかりではなく、長期的な予算確保の根拠に使用されるなど、様々な活用されています。また、毎年更新された台帳が管理団体に還元されるため、管理団体が常に最新の施設台帳を完備できるというメリットもあります。

以上のような趣旨をご理解頂き、今年も【施設台帳】の更新に協力下さい。

## ■ストマネクイズ

大規模な排水機場では、大雨の時にしか稼働しないエンジンが多く見られます。稼働時間が少なくても、パッキン類の経年劣化による汚損等が発生しますので、点検の際は十分に注意してください。さて、ディーゼルエンジンについており、経年劣化している右記の部品、何か分かりますか？

【答えは下に書いてあります】



○問い合わせ先 宮城県農林水産部農村整備課 水利施設保全班

TEL 022-211-2876

HP <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nosonsej/sutok1-1.html>

宮城県土地改良事業団体連合会 技術部 農村整備五班

TEL 022-263-5816

こたえ：赤の配管であるため、燃料が流れていることが分かります。これは燃料を濾過するための「こし器」ですが、パッキンの経年劣化により下部に燃料漏れが発生しています。この部品に限らず、日頃から目視点検等を行い、油漏れにはご注意ください。

ストックマネジメントは計画的に